2025年12月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年５月15日

上 場 会 社 名	フジコピアン株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	7957	URL	https://www.fujicopian.com
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	佐々木　敏樹
問合せ先責任者	（役職名） 代表取締役専務	（氏名）	上田　正隆　　(TEL) 06(6471)7071
配当支払開始予定日	―		

決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2025年12月期第１四半期の連結業績（2025年１月１日～2025年３月31日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第１四半期	1,938	2.1	△164	―	△209	―	△197	―
2024年12月期第１四半期	1,897	△9.8	△257	―	△224	―	△231	―

（注）包括利益　2025年12月期第１四半期　　△44百万円（　　―%）　2024年12月期第１四半期　　△99百万円（　　―%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第１四半期	△128.89	―
2024年12月期第１四半期	△151.36	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第１四半期	16,250	10,405	64.0
2024年12月期	16,442	10,565	64.3

（参考）自己資本　2025年12月期第１四半期　10,402百万円　　2024年12月期　10,565百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	―	0.00	―	78.00	78.00
2025年12月期	―				
2025年12月期(予想)		0.00	―	64.00	64.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2025年12月期の連結業績予想（2025年１月１日～2025年12月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	4,150	1.1	△160	―	△195	―	△185	―	△120.86
通期	9,100	1.3	80	―	70	△25.8	20	△95.0	13.07

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　―社（社名）　　、除外　　―社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　有

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期１Ｑ	1,789,487株	2024年12月期	1,789,487株
②　期末自己株式数	2025年12月期１Ｑ	258,805株	2024年12月期	258,805株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期１Ｑ	1,530,682株	2024年12月期１Ｑ	1,530,682株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響をあたえる不確実な要因にかかる本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

上記の予想に関する事項については、３ページ「１.当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（会計方針の変更） …… 8
（セグメント情報等） …… 9
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価上昇の継続から個人消費が伸び悩むなか、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の回復、企業の堅調な設備投資を背景に緩やかな回復基調となりました。一方で、ウクライナおよび中東情勢の長期化による原材料・エネルギーコストの高止まりや欧州・中国の経済停滞継続、米国の関税引き上げの動きなど景気の下振れリスクが強まっており、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当グループの強みである、創造型企業としての技術をもとに、新製品の開発および市場の開拓を重点課題とし、多様化・高度化する顧客のニーズに対応する開発に努めてまいりました。

当第１四半期連結累計期間における販売面につきましては、中期経営計画における重点課題「新製品・新規事業の開発」に注力し、主力のサーマルトランスファーメディアは堅調に推移いたしましたが、テープ類など前期後半の徹底した増販活動の反動もあり、総じて力強さの欠ける状況となりました。

また、生産面では、「ものづくり力・生産性の強化」を目指し、グループ全体でのコスト削減を推進し、収益改善に取り組んでまいりました。

この結果、連結売上高は、19億３千８百万円（前年同期比2.1%増）となりました。

利益面におきましては、グループを挙げた生産の効率化によるコスト削減に取り組んでまいりましたが、営業損失は１億６千４百万円(前年同期　営業損失２億５千７百万円)となりました。経常損失は為替差損の計上などもあり、２億９百万円(前年同期　経常損失２億２千４百万円)となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は、１億９千７百万円(前年同期 親会社株主に帰属する四半期純損失２億３千１百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであり、売上高についてはセグメント間の内部売上高または振替高を除いた売上高で表示しております。

印字記録媒体および事務用消耗品関連事業は、売上高18億４千１百万円(前年同期比2.8%増)、セグメント利益(売上総利益)は３億４千２百万円(前年同期比30.7%増)となりました。

品目別売上高としましては、サーマルトランスファーメディアは、主力のバーコード用リボンを中心に拡販に努めました結果、12億２百万円(前年同期比7.2%増)となりました。

インパクトリボンは、全般的に市場の縮小傾向が続いており、１億７千５百万円(前年同期比7.4%減)となりました。

テープ類は、新規取引先の開拓や既存取引先シェアアップに努めましたが、前期増販活動の反動による取引先の在庫調整の影響から、３億１千３百万円(前年同期比8.3%減)となりました。

機能性フィルムは、欧州を中心とした自動車生産調整に伴う車載用販売回復の足取りが重いものの、新製品に対する需要増加および既存顧客の掘り起こしにより、８千１百万円(前年同期比4.5%増)となりました。

その他は、６千８百万円(前年同期比12.3%増)となりました。

プラスチック成形関連事業は、取引先各社の需要の落ち込みから、売上高９千６百万円(前年同期比8.5%減)、セグメント利益(売上総利益)は１千９百万円(前年同期比1.3%減)となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間末の総資産は、162億５千万円(前連結会計年度末比1.2%減)と、前連結会計年度末に比べ１億９千１百万円の減少となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が減少したことなどによるものであります。

負債は、58億４千５百万円(前連結会計年度末比0.5%減)と、前連結会計年度末に比３千１百万円の減少となりました。これは、主に電子記録債務が減少したことなどによるものであります。

純資産は、104億５百万円(前連結会計年度末比1.5%減)と、前連結会計年度末に比べ１億６千万円の減少となりました。これは、主に利益剰余金が減少したことなどによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の業績予想につきましては、2025年２月14日に発表の数値を変更しております。詳細につきましては、本日発表の「第２四半期（中間期）連結業績予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2025年３月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,857,775	3,134,069
受取手形及び売掛金	2,327,522	1,820,250
電子記録債権	922,540	725,275
商品及び製品	674,753	934,451
仕掛品	680,081	652,681
原材料及び貯蔵品	573,655	623,540
その他	147,025	86,328
貸倒引当金	△3,247	△2,478
流動資産合計	8,180,107	7,974,119
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,794,851	2,818,765
機械装置及び運搬具（純額）	1,470,949	1,449,418
土地	1,679,923	1,679,923
リース資産（純額）	120,204	107,417
建設仮勘定	91,972	115,786
工具、器具及び備品（純額）	132,787	126,166
有形固定資産合計	6,290,689	6,297,477
無形固定資産		
ソフトウエア	60,454	114,378
リース資産	329,940	314,712
ソフトウエア仮勘定	44,919	―
その他	41,090	44,947
無形固定資産合計	476,404	474,038
投資その他の資産		
投資有価証券	1,265,449	1,278,713
その他	229,969	226,379
投資その他の資産合計	1,495,418	1,505,093
固定資産合計	8,262,512	8,276,608
資産合計	16,442,619	16,250,727

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2025年３月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	463,628	492,954
電子記録債務	1,077,424	646,485
1年内返済予定の長期借入金	839,562	821,307
リース債務	77,451	76,407
未払法人税等	87,872	22,810
未払消費税等	8,365	7,683
賞与引当金	―	105,248
設備関係支払手形	38,445	148
設備関係電子記録債務	274,302	78,258
その他	362,320	390,575
流動負債合計	3,229,374	2,641,878
固定負債		
長期借入金	1,507,843	2,160,236
リース債務	60,011	41,669
繰延税金負債	206,455	189,577
役員退職慰労引当金	253,283	232,783
退職給付に係る負債	615,881	575,531
資産除去債務	3,811	3,811
固定負債合計	2,647,286	3,203,610
負債合計	5,876,661	5,845,489
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,791,796	4,791,796
資本剰余金	2,995,928	2,995,928
利益剰余金	2,394,371	2,077,685
自己株式	△422,020	△422,020
株主資本合計	9,760,076	9,443,390
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	470,255	479,416
為替換算調整勘定	340,154	484,747
退職給付に係る調整累計額	△4,528	△5,374
その他の包括利益累計額合計	805,881	958,789
新株予約権	―	3,059
純資産合計	10,565,957	10,405,238
負債純資産合計	16,442,619	16,250,727

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2024年１月１日 至 2024年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年３月31日）
売上高	1,897,595	1,938,058
売上原価	1,616,050	1,576,373
売上総利益	281,545	361,684
販売費及び一般管理費	538,934	526,291
営業損失(△)	△257,388	△164,606
営業外収益		
受取利息	39	294
受取配当金	118	135
為替差益	34,372	―
保険返戻金	―	1,012
その他	2,058	1,600
営業外収益合計	36,588	3,042
営業外費用		
支払利息	3,945	6,868
為替差損	―	41,306
その他	42	37
営業外費用合計	3,987	48,212
経常損失(△)	△224,787	△209,775
特別損失		
固定資産廃棄損	152	927
特別損失合計	152	927
税金等調整前四半期純損失(△)	△224,940	△210,703
法人税等	6,736	△13,410
四半期純損失(△)	△231,677	△197,293
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△231,677	△197,293

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2024年１月１日 至 2024年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年３月31日）
四半期純損失(△)	△231,677	△197,293
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	205,766	9,160
為替換算調整勘定	△72,171	144,593
退職給付に係る調整額	△1,789	△846
その他の包括利益合計	131,805	152,908
四半期包括利益	△99,871	△44,385
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△99,871	△44,385

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当第１四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－３項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号。以下「2022年改正適用指針」という。）第65－２項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第１四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ.前第１四半期連結累計期間(自　2024年１月１日　至　2024年３月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結財務諸表計上額（注）２
	印字記録媒体および事務用消耗品関連事業	プラスチック成形関連事業	計		
売上高					
サーマルトランスファーメディア	1,121,271	－	1,121,271	－	1,121,271
インパクトリボン	189,346	－	189,346	－	189,346
テープ類	341,875	－	341,875	－	341,875
機能性フィルム	78,187	－	78,187	－	78,187
その他	61,205	－	61,205	－	61,205
プラスチック成形	－	105,709	105,709	－	105,709
顧客との契約から生じる収益	1,791,886	105,709	1,897,595	－	1,897,595
外部顧客への売上高	1,791,886	105,709	1,897,595	－	1,897,595
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	138	138	△138	－
計	1,791,886	105,848	1,897,734	△138	1,897,595
セグメント利益	261,847	19,721	281,569	△23	281,545

（注）１　セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

２　セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

Ⅱ.当第１四半期連結累計期間(自　2025年１月１日　至　2025年３月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)１	四半期連結財務諸表計上額(注)２
	印字記録媒体および事務用消耗品関連事業	プラスチック成形関連事業	計		
売上高					
サーマルトランスファーメディア	1,202,075	－	1,202,075	－	1,202,075
インパクトリボン	175,248	－	175,248	－	175,248
テープ類	313,549	－	313,549	－	313,549
機能性フィルム	81,698	－	81,698	－	81,698
その他	68,759	－	68,759	－	68,759
プラスチック成形	－	96,726	96,726	－	96,726
顧客との契約から生じる収益	1,841,331	96,726	1,938,058	－	1,938,058
外部顧客への売上高	1,841,331	96,726	1,938,058	－	1,938,058
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	249	249	△249	－
計	1,841,331	96,976	1,938,308	△249	1,938,058
セグメント利益	342,255	19,469	361,725	△40	361,684

(注)１　セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

２　セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間(自　2024年１月１日　至　2024年３月31日)	当第１四半期連結累計期間(自　2025年１月１日　至　2025年３月31日)
減価償却費	156,428千円	159,417千円